

知っておきたい ご自宅での副作用管理について

副作用は、早めの対処が大切です。いつもと違う症状に気づいたら、すぐに連絡してください。

副作用が発現しても、早期に見つけて適切な対処を行えば、重症化を防ぐことにつながります。治療が終わったあとも、いつもと違う症状が現れた場合はご自分で対処せず、ただちに医師や看護師、薬剤師に連絡してください。

**緊急連絡や緊急受診が必要になったときのために
次のことを確認しておきましょう。**

■ あらかじめ確認しておきたいこと

- ✓ 病院の連絡先(夜間の連絡先)の電話番号
- ✓ 病院に向かうための交通手段
- ✓ 付き添いが必要な場合の支援方法と連絡先

■ 病院に連絡する際に伝えておきたいこと

- ✓ 患者さんの氏名、診察券の番号
- ✓ 通院している診療科
- ✓ オプジーボによる治療を受けている(受けていた)こと
- ✓ いつから、どのような症状が出ているのか
- ✓ その症状で、どんなことに困っているか



オプジーボの治療中または治療後は、以下の 気になる症状がある場合はご自分で対処せず、

間質性肺疾患	●咳（空咳） ●息切れ ●息苦しい
重症筋無力症・心筋炎・筋炎・横紋筋融解症	●まぶたが重い ●ものがだぶつく ●筋肉の痛み・はれ・熱感 ●手足のしびれ
大腸炎・小腸炎・重度の下痢	●発熱 ●便に血が混じる（鮮紅色） ●下痢（軟便）あるいは排便回数の増加
1型糖尿病（劇症1型糖尿病を含む）	●体がだるい ●体重が減る ●多飲・多食・多尿
重篤な血液障害	●発熱 ●鼻血 ●歯ぐきの出血 ●体がだるい ●顔色が悪い
劇症肝炎・肝不全・肝機能障害・肝炎・硬化性胆管炎	●皮膚や白目が黄色くなる（黄疸） ●疲れやすい ●体がだるい ●食欲不振
甲状腺機能障害	●疲れやすい ●脱毛 ●動悸 ●行動の変化がある（性欲が減る、月経不調）
下垂体機能障害	●体がだるい ●疲れやすい ●視力低下
神経障害	●手足のしびれ ●手足の痛み
腎障害	●むくみ ●体がだるい ●発熱
副腎障害	●体がだるい ●意識がうすれる
脳炎・髄膜炎・脊髄炎	●発熱 ●頭痛 ●失神 ●吐き気 ●両足のしびれ・まひ ●尿が出ない
重度の皮膚症状	●発熱 ●皮膚・粘膜のただれ ●痛み
静脈血栓塞栓症	●皮膚や唇、手足の爪が青紫色～黒紫色になる
薬剤の注入に伴う反応（投与中～投与後24時間以内）	●呼吸困難 ●発熱 ●嘔吐 ●下痢
血球貪食症候群	●発熱 ●発疹 ●体がだるい ●食欲不振
結核	●体重が減る ●体がだるい ●発熱
脾炎	●強い腹痛 ●背中への痛み ●吐き気
重度の胃炎	●吐き気や嘔吐 ●食欲不振 ●腹痛
ぶどう膜炎	●目のかすみ ●視力の低下

ような副作用が現れることがあります。 医師や看護師、薬剤師に連絡してください。

い ●発熱 ●疲労
て見える ●体がだるい ●発熱 ●息切れ ●息苦しい ●動悸 ●胸の痛み ●むくみ のしびれ ●脱力感 ●繰り返し運動で疲れやすい ●吐き気 ●赤褐色の尿が出る 色～暗赤色) ●便に粘り気がある ●何度も水のような便が出る が増えた ●腹痛・腹部の圧痛 ●体がだるい ●吐き気や嘔吐
のどが渇く ●水を多く飲む ●尿の量が増える ●吐き気や嘔吐 ●意識障害
●あおあざができる ●出血が止まりにくい ●動悸 ●息切れ、息苦しい ●皮膚や白目が黄色くなる(黄疸) ●かゆみ ●寒気 ●点状や斑状の皮下出血
●体がかゆくなる ●急激な体重増加 ●便に血が混じる(鮮紅色～暗赤色または黒色) 力が入らない ●吐き気や嘔吐 ●食欲不振 ●発熱 ●腹痛 ●意識の低下
●体重増加あるいは体重減少 ●微熱 ●便秘 ●寒気 いらいらする、物忘れしやすいなど)
食欲不振 ●のどが渇く ●体重減少 ●頭痛 ●見えにくい
●手足に力が入らない ●めまい ●運動のまひ ●感覚のまひ
●血尿 ●貧血 ●尿量が減る、尿が出ない ●食欲不振
●吐き気や嘔吐 ●食欲不振
吐き気や嘔吐 ●精神状態変化 ●体の痛み ●意識がうすれる ●首の硬直 にくい ●尿失禁 ●便が出にくい ●便失禁
●体がだるい ●全身に赤い斑点や水ぶくれが出る ●まぶたや眼の充血 ●ひどい口内炎
暗褐色になる ●腫れ・むくみ ●意識の低下、胸の痛み、息苦しい
●咳 ●めまい ●動悸 ●寒気
●出血が止まりにくい ●けいれん ●下痢 ●顔のむくみ
微熱 ●咳が続く ●寝汗をかく ●痰が出る
吐き気や嘔吐 ●体重が減る ●のどが渇く ●皮膚が黄色くなる ●下痢
胃の不快感や痛みがある ●吐血 ●便が黒い
●眼の充血 ●まぶしく感じる ●眼痛 ●虫が飛んでいるように見える

軽い症状であっても放置しておく



下記のような症状がみられたら、主治

肺や気管の症状

- ☐ 痰のない乾いた咳が出る(空咳)
- ☐ 息が切れる
- ☐ 呼吸がしにくい



筋肉の症状

- ☐ まぶたが下がってくる
- ☐ 手足に力が入らない
- ☐ 筋肉が痛む・はれる・熱くなる
- ☐ 全身の力が抜ける(脱力感)



眼の症状・皮膚の症状

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| ☐ 物がだぶって見える | ☐ 皮膚や粘膜がただれる |
| ☐ 眼がかすむ | ☐ 全身に赤い斑点や |
| ☐ 視力の低下 | 水ぶくれが出る |



これらの症状以外でも、いつもと違う症状がみられたら
(症状の詳細については、中面をご確認ください)

と急に悪化することがあります

医や看護師、薬剤師に連絡してください

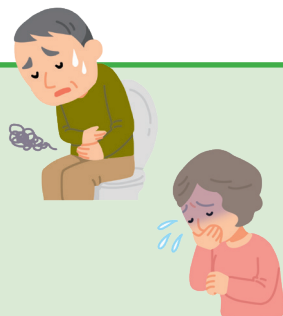
胸(心臓)の症状

- ☐ 胸がドキドキする(動悸)
- ☐ 胸が痛い(胸痛)



胃腸の症状

- ☐ 腹痛
- ☐ 激しい下痢
- ☐ 便に血が混じる
- ☐ 吐いてしまう(1日3回以上)



全身の症状・その他

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ☐ 38℃以上の発熱 | ☐ のどが ^{かわ} 渴く |
| ☐ 意識がうすれる | ☐ 疲れがひどい |
| ☐ めまいがする | ☐ 手足のむくみ・しびれ |
| ☐ 頭痛 | ☐ 急に体重が増えた |



「治療日誌」に記入して、医師または看護師、薬剤師に伝えてください。

こちらに記入しておきましょう

記入日 年 月 日

病院の連絡先

病 院 名	
電 話 番 号	
夜間緊急時の電話番号	

病院に連絡する際に伝えたいこと

患者さんの氏名

診察券の番号

病院の診療科

担当医師名

- オブジーボによる治療を受けている(受けていた)こと
- いつから、どのような症状が出ているのか
- その症状で、どんなことに困っているのか

交通手段や支援方法と連絡先について(タクシー会社の電話番号など)